

最近の雇用失業情勢（令和8年6月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.30倍（季調値）」（前月から0.02ポイント上昇）

〔概況〕

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月から0.02ポイント上昇**。

〔基調判断〕

- **《情勢維持》**

〔判断根拠〕

- 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は製造業、運輸業・郵便業等で増。卸売業・小売業等で減。

〔新規求人数〕

当月：4,505人 製造業、運輸業・郵便業等の増員により+237人
（前年同月 5.6%増）

〔産業分類別〕

- 「増」（対前年同月比）
【製造業】当月：683人 前年同月：+186人
【運輸業・郵便業】当月：292人 前年同月：+72人
【医療・福祉】当月：884人 前年同月：+90人
【建設業】当月：472人 前年同月：+10人
- 「減」（対前年同月比）
【卸売業・小売業】当月：696人 前年同月：-87人
【宿泊業・飲食サービス業】当月：244人 前年同月：-18人

〔地域別求人倍率〕

【鳥取所】当月：1.09倍 前年同月：+0.03P
【米子所】当月：1.29倍 前年同月：+0.04P
【倉吉所】当月：1.23倍 前年同月：-0.07P

〔正社員関連〕

有効求人倍率 1.10倍（2か月連続で前年同月を上回る）
→全国指標 0.96倍（11か月連続で前年同月を下回る）

〔新規求職者数〕

当月：1,973人 （前年同月9.2%増）